

日本宗教学会第 84 回学術大会に参加

堀内 みどり

9 月 14 日（日）～ 16 日（火）の 3 日間、標記学術大会が上智大学を会場に開催された。14 日には開会式の後、公開シンポジウムが「大学で宗教（学）を教える」をテーマとして開催された。15 日及び 16 日には、11 の部会（録画部会を含む）で個人研究とパネルの発表が行われた。天理大学関係者の発表は以下の通り。

澤井義次：宗教理解への視座—井筒俊彦とウィルフレッド・C・スミス—（パネル「井筒『東洋哲学』の立場—比較宗教思想の視点から—」代表）

フアン・ホセ・ロペス・パソス：井筒東洋哲学から読み解くオルテガー生の理性とコトバー（上記パネル）

深谷耕治：和辻哲郎の宗教研究—『倫理学』を中心に

澤井治郎：米国におけるニーバー・リバイバルとその後

金子昭：天理教における“事情教会”問題—新たな展開の可能性への模索—（パネル「宗教団体における実践と論理」）

加藤匡人：On Politics and Governance in Japanese Religions（国際委員会企画パネル New Directions in the Study of Japanese Religions: Reviewing New Nanzan Guide）

森下三郎：M. ジャクソンの儀礼研究における再帰的過程について

山本佳世子：欧米における無宗教チャプレンの展開—日本との比較から—

岡田正彦：円通『実験須弥界説』を読む—近代的自然観と仏教思想—

日沖直子：鈴木ビアトリスと神智学的ユニヴァーサルイズム
また、他に天理教関連の発表が 1 つあった。

村山元理（駒澤大）：経営哲学としての「かしの・かりもの」

第 4 回天理大学・マールブルク大学共同研究プロジェクト報告

澤井 真

10 月 11 日（土）～ 13 日（月）の 3 日間、天理大学創立 100 周年記念 第 4 回天理大学・マールブルク大学共同研究プロジェクトが天理大学を会場に開催された。天理大学と長年にわたり交流関係にあるドイツのマールブルク大学から宗教研究者らが来訪し、活発な学術交流が行われた。

第 4 回目となる今回は、「宗教との邂逅—旅・紀行・もの—」が統一テーマとなった。このテーマを討議することになった背景の一つに、2020 年以降に猛威をふるったコロナウイルス感染症の影響があった。コロナ禍では人やものの移動が制限されていた。そうした状況から、人々が再び邂逅しつながっていく仕方はそれまでと少なからず変化を伴ってきた。また、今回のプロジェクトが天理大学の創立 100 周年を記念して行われることから、創立

100 周年のテーマである「CONNECT —『つながる』を、始めよう。」に基づき、宗教同士が邂逅し、つながる際の接触面について考察することになった。各セッションでは、森下三郎、澤井義次、島田勝巳、堀内みどりがディスカッサントを務めた。

オープニングセッション

永尾比奈夫：資料を通して信仰者と出逢う—宗教への眼差しとバランスの重要性

セッション 1 旅

バーベル・ベインハウアー・ケルヒャー：宗教と邂逅し、宗教を媒介する—中世期ムスリム旅行者らの眼差し—

岡田正彦：井上円了の世界旅行と「星界想遊記」—近代国家への憧憬と近代人の神—

ローレント・ミニョン：クロード・ファレール（1876-1957）の著作に見るトルコ・日本・宗教

深谷耕治：和辻哲郎の『古寺巡礼』再読

セッション 2 紀行

フェルディナンド・リフェルト：文化を探究し、人々とつながる—二代真柱の海外渡航—

尾上貴行：天理教布教師の紀行にみる異宗教間接触—1910 年代初期の天理教ロンドン布教を事例として

カティヤ・トリプレット：天理大学附属天理図書館における初期イエズス会士の旅行記—稀覯書を通じた宗教との出会い—

澤井治郎：パウル・ティリッヒの日本旅行記

セッション 3 もの

ゲアハルト・マーセル・マーティン：「…そして手足の衝動と疲労を感じる」—現代の宗教的・文化的実践における忘却と身体性の回復—

澤井真：ものがつないだ宗教的邂逅の記憶—天理教とイスラーム—

ゲアハルト・マーセル・マーティン：身体—宗教の邂逅における「もの」の一側面

東馬場郁生：物質論的転回？—近世初期日本のキリスト教の理解について—

2026 年度公開教学講座のご案内

—「布教伝道と伝道学」—

2026 年は、私たちが天理教教祖 140 年祭を迎える年であり、また、おやさと研究所が 1956 年 9 月に現在の名称となってから 70 年目の記念すべき節目の年でもあります。この希有の旬に、おやさと研究所では年祭記念企画として、公開教学講座シリーズ「布教伝道と伝道学」を開催することになりました。

この公開教学講座シリーズはおやさと研究所の研究員全員が担当し、2026 年 4 月から 2027 年 2 月まで（8 月を除く）全 10 回のシリーズとして行います。

グローバル天理

第 26 巻 第 12 号（通巻 312 号）

2025 年（令和 7 年）12 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 井上昭洋

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒 632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

おやさと研究所（HP）



印刷 天理時報社

Printed in Japan